

出張広報 @聖徳学園中学

2016年1月21日(木) 聖徳学園中学

2016年1月21日に聖徳学園中学にて、中学生120名に対して、OECDやOECDと日本の関係について紹介し、OECDを知らない中学生にOECDを身近に感じてもらうための活動をしました。イベント冒頭では、中央大学国際センターの小川正純氏から「世界において日本に求められる役割」をテーマに、OECDについて理解が深まるよう導入授業を行っていただきました。また、「これからの日本人に何が必要か」というテーマでグループワークを行い、これからの日本と世界の関係について考えてもらいました。聖徳学園は、アクティブラーニングを取り入れているため、生徒同士の議論が活発におこなわれており、ユニークなアイデアが多く提案されていました。その姿を目にし、OECD教育局も推奨するアクティブラーニングの重要性を実感することができました。

